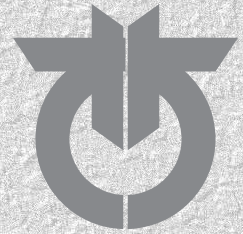


人権教育広報

ふれあい

編集・発行 桶川市人権教育推進協議会



第4号



「ザリガニをつるよ!!!」
目出谷小学校 2年 大すみらんな

人権標語

にっこりと やさしいえがおで またあした

●朝日小1年 稲荷場優奈●

気づいてね! からかうことも いじめだよ

●加納小3年 澁井あかり●

助け合おう 知らないふりせず 勇気を出して

●桶川北小6年 川島隆志●

考えよう 相手の気持ち もう一度

●桶川西中1年 福田夏美●

不安なら 抱えこまずに 打ち明けて

●桶川東中2年 中村 慧●

広げよう 豊かな心と 思いやり

●桶川西中3年 大島法子●



お年寄りとのふれあいを通して

川田谷小学校

本校では、学校教育目標の一つである「思いやりのある子」の育成を目指し、全教育活動で人権教育に取り組んでいます。

その中で、特活年間計画（児童集会・代表委員会）の中の一環として、異学年の児童が一緒になって活動し、交流を深める「なかよし時間」の活動を行っています。異学年の児童と一緒に活動することで思いやりの心を育てることをねらいとしています。縦割りのグループで遊ぶことによって、高学年の児童は、計画力・実行力などのリーダー性や、思いやりの心を、低学年の児童には、お兄さん・お姉さんの話をしっかり聞き、活動することを

本校では、五年生が十年ほど前から「人とともに生きる」をテーマに、学区内にある介護老人保健施設「ルーエハイム」を訪問しています。

一カ月に一回、十名程度が訪問し、デイサービスで来所された高齢者の方々のリハビリのお手伝いをしたり、高齢者の方々とゲームをしたり、歌のプレゼントをしたりして交流を深める活動を進めています。

この活動を通して、子ども達は「福祉」と「ボランティア」とは何かを学びました。その結果、子ども達に高齢者の方々に対するやさしさや「ボランティア活動」への意欲が高まってきました。

子ども達から次のような感想がありました。

- ・毎月「ルーエハイム」に行くのを楽しみにしています。早くおじいさんやおばあさんと一緒にゲームをしたいと思います。
- ・家にもおばあちゃんがいるので、お年寄りの気持ち分かるようになりました。
- ・高齢者の方からは、こんな声をいただきました。孫が来てくれるようで楽しみにしています。
- ・小学生とゲームをやるのが楽しいです。

毎年「ルーエハイム」の方々に喜ばれていることが子ども達の励みにもなっています。

今後もこの活動を継続し、心豊かな子ども達を育てていきたいと思っています。



異学年交流を通して

桶川西小学校

通して感謝の心を育てることを目指しています。

活動は、原則として月二回、第二・四の火曜日の昼休みから清掃の時間を利用して、各クラス八つのグループに分かれ、六年生と一年生、五年生と三年生、四年生と二年生の組み合わせで行っています。主な活動内容として、校庭では、なわとび・だるまさんが転んだ・ドッジボール、室内では、ハンカチ落としやトランプなど、全員が参加し、楽しく遊べるものとなっています。

高学年の児童は、低学年の児童も楽しめる遊びの内容や遊び方を考えることで、低学年への思いやりも育ち、仲間意識の輪も広まりつつあります。



本校では、人権教育の一環として、「ふれあい講演会」を行っています。今年度は、「人権を脅かすワナ」をテーマに、少年たちを非行に導こうとする誘惑の防止と、正しい判断ができる人間になることをねらいとして実施しました。

自分の欲望で他人の人権を傷つけることなく、自分の身を自分で守ることについて、講師の先生方と学校職員による寸劇を取り入れた内容は、生徒たちにもたいへん好評でした。社会に存在する悪徳商法についての説明もあり、生徒からは、「非行へ導く誘惑」や悪徳商法は、最初の甘い文句に乗せられると最後に大変なことになるとことを知りました。」と感想が出されました。



また、第二学年社会科では、歴史的分野の「大正デモクラシー」を学習する場面で、不当な部落差別に耐えながら生き抜いていく様子を描いた映画『橋のない川』を視聴した後、グループで「水平社宣言」を自分たちなりに訳文に考えるという課題学習を行いました。

各グループでの話し合いの中で、差別は絶対に許さないと考えを共有できた生徒が多く、末尾の「人の世に熱あれ、人間に光あれ。」という文を「人には温かい心と生きることへの希望がいちばん必要なのだ。」と生徒が訳すなど、部落差別を自分のこととして考える活動となりました。

本校では、学校教育目標「気づき、考え、実行する生徒」を受けて、学校人権教育目標「①人権意識を高める。②人権に関する正しい理解を深める。③様々な人権課題を解決しようとする態度を育てる。」を掲げ、全ての教育活動を通じて人権教育を推進しています。その中から二つの実践を紹介します。

一 学年別啓発授業の実践

毎年五月に人権学習の集中期間を定め、全クラスが担任の指導の下に、人権作文やテーマを決めた学年別啓発授業に取り組んでいます。今年度は、人権意識について理解を深めるワークショップを、二学年で実施しました。また、三学年では、アメリカの人種差別解消に向けた「キング牧師の人生」と「青い目・茶色い目の授業の記録」の二つのビデオを視聴して、差別解消に向けての意識を高めました。

二 第三学年社会科の実践



左の写真は、「不当な権力に負わず、偏見や差別に対して勇気を持って行動し、差別解消を目指そう」とする生徒を育てるために行ったシミュレーション学習の様子です。今回は、「いじめ」「暴力」「エイズに対する誤った偏見」を題材に仮想場面を設定しました。

差別に直面した自分の判断と態度を述べ、話し合いました。



人権課題の解消を目指す生徒の育成

桶川西中学校



守ろう 自分達の人権を

桶川中学校



地域の方とふれあって、心がほかほか

朝日小学校

本校では、「人権尊重に徹し、人権意識の高揚を図り、人権に対する正しい知識と理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育てる」を人権教育目標として全教育活動を行っています。

例えば一年生では、生活科で昔の遊びを行います。今年度も地域の方（長生会・神明むつみ会・若一会・万年青会）に来ていただき、竹馬、こま回し、お手玉、折り紙あやとりなどの昔の遊びを教えてくださいました。

グループに分かれて、一人ひとりていねいに教えていただいたおかげで、授業が終わる頃には前よりも上手に昔の遊びができるようになり、

手話を覚えて会話ができるようになりたいです。障害があっても、明るく元気がいっぱいになる様子に感動しました。わたしも、いろいろなことに挑戦し、がんばりたいです。

アイマスクをして歩くと、階段がとてこわかったです。となりで声をかけてもらおうと、安心できることがわかりました。



豊かな体験活動を通しての人権教育

日出谷小学校

本校では、四年生の総合的な学習の時間に福祉の体験学習を取り入れています。車いす、点字、手話、アイマスクなどの体験やさまざまな人との交流を通して、思いやりの心や障害のある人への理解を深めようとしています。今年度の学習を通して、子どもたちがいただいた思いは、次のようなものでした。

- 身体に障害のある人は、わたしたちの何倍も努力していることを忘れてはいけないと思います。
- あいさつの仕方を手話で教えていただきました。手話には、ちゃんと意味があることを知りました。
- 電車やバスの中で席をゆずったり、声をかけたりしたいです。また、

手話を覚えて会話ができるようになりたいです。障害があっても、明るく元気がいっぱいになる様子に感動しました。わたしも、いろいろなことに挑戦し、がんばりたいです。

アイマスクをして歩くと、階段がとてこわかったです。となりで声をかけてもらおうと、安心できることがわかりました。

学習のまとめとして、お世話になったゲストの方に、お礼の気持ちを込めて手紙を書きました。これからも、自分に何ができるか、相手の立場を理解できる豊かな心をはぐくんでききます。



人権教育ビデオの紹介

〈旅立ちの日に〉(アニメ40分)



〈概要〉
あるウエディングコーディネーターが、手作りの結婚式の企画に携わる過程で、登場するそれぞれの人の力で家族の問題や世間体の問題などを解決し、自分の心にある見えないう障壁を壊し、心のバリアフリーを形成していく様子を描いています。この作品を通して、人権文化のまちづくりにつなげていくきっかけにしたいだければ幸いです。

〈ヒューマン博士と考えよう〉(28分)



〈概要〉
本作品は、部落差別の歴史をひもとくながら、差別された人びとの生産と労働、芸能や文化へのかかわりを、ヒューマン博士がわかりやすく解説したものです。学校では人権学習の導入やまとめの教材に、また、地域や職場においても啓発教材として幅広く活用していただき、同和問題への理解をより一層深めていただきたいと思えます。

本校では充実した人権教育の実施をめざし、生徒に対して様々な問題提起に心がけています。各学年毎の取り組みと全校生徒を対象とした人権教育講演会が主な柱となっています。

本年度は十月、講師に高遠菜穂子さんを招き、「イラク報告・戦場の若者達」と題して映像を見ながら講演をして頂きました。両親や家族を戦争で失い、ストリートチルドレンとなった若者達が高遠さん達の支援を受けながら自立していく姿は、戦時下の状況の悲惨さとともに、次々とつもなっていく日々のイラクの人達は過つてつもなっていくのだと思つた。もつと命のことについて考えるべきだと思つた。

子供達が協力して家を造り直していたシーンが一番印象に残つた。あんなにつらい暮らしをしているのに、家を造っている子供達が、

笑っているのがすごいと思つた。

学年の取り組みとしては、一年生は人権教育アニメ「旅立ちの日に」を鑑賞、いじめの対応や家族のつながり等考えました。二年生は沖繩修学旅行中、与那覇百子さんを講師に「沖繩戦を体験して平和と生命の大切さを知る」と題した講演を聞き、平和祈念公園では、「クラス平和の誓い」を読み上げ各クラス全員の寄せ書きと黙とうを捧げました。三年生は差別に気づく感性と差別を許さない心のさらなる育成を目的に、ビデオ「人権に向きあう6つの素材―街に―」を鑑賞しました。

人権意識の向上をめざして

埼玉県立桶川西高等学校



※視聴をご希望の方は、教育委員会までお申し出ください。

人権作文

生きていくために

桶川東中二年

中島 祥子

「いっしょにやろう。」

毎朝聞いていた声があります。

私の家の隣に住んでいらしたAさんの声です。Aさんは奥さんとの二人暮らしです。十年前にかかった病気の後遺症で右半身を動かすことができません。ですから、右手、右足を使う時は必ず、誰かの助けが必要になります。そんな体でも、たとえ雨や風の強い日や寒い日でも、リビングの戸をいっばいにかけて、大きな声でいさつをしてくれます。私は、最初あまり大きな声でいさつしてくださったので、少し恥ずかしい気がしてなかなか、

「いっしょにやろう。」
と、返事ができませんでした。しかし、動かせる左手を大きく振ってあいさつをしつづけているのに、返事がかえってこなかったら、Aさんはどんな気持ちになるでしょう。私は思いきって、「いっしょにやろう。」

と、大きな声で返事をしてみました。Aさんはいつもの笑顔より、とっても嬉しそうなお顔をしてくれました。私も一日がとても気持ちよく送れそうな、嬉しい気持ちになりました。優しい声で、
「いっしょだね。」
と言っで見送ってくれました。Aさんは、私たち家族のことを「自分の家族のようだ。」
と言っ、いつも大切に思っしてくれていたと、母が言っていました。Aさんは、不自由な体を少しも良くしようと、奥さんの手をかりて、毎日、立ったり座ったり、少し歩いてみたりと一生懸命にリハビリをして努力をされています。私たちにはすぐにできる動作でも、とても大変なことだと母から聞くと、Aさんのいつもとは違っつらそうな顔が浮かんできます。私は、何かつらいことがあつて、くじけそうになつてしまつて、そんな状況から逃げたくなつてしまつような時、Aさんが一生懸命にリハビリをしている姿を思つと、そんな自分を恥ずかしく思っることがあります。

しかし、周りの人たちにいつも笑顔で、自分の好きな音楽の話や得意の歴史の話がされている

時の顔は、とても輝いて見えませんでした。そのようなお話を私は、夢中になって聞かせていただいたことがあります。

父もAさんと自分の考えが合うらしく、長い間、話をしたりして敬していたようでした。私は、不自由な体になつてしまつたら、こんなに明るく周りの人たちと接することが出来るだろうかと思つて、自分にはとてもできそうにないと思つと、Aさんの強さを感じます。

ある日、Aさんの奥さんが足にけがをされてしまい、母が少しの間、買い物や日常生活に必要な所をお手伝いしていたことがありました。どんなことでも自分でやつてこられた奥さんは、とてもつらそう、母に遠慮されていたようですが、母は当たり前のように、「できるだけ力になつてあげたい。」
と言っていました。しかし、

「Aさんも、いつもの元気が少しずつなくなつてしまつたように見えるわ。」
と、母が言っていました。何日かすると、奥さんのけがもだいぶ良くなり、いつも通りの生活ができるようになりました。しかし、こ

のことがきっかけになり、Aさんと夫婦は高齢なこともあつて、千葉に住んでいる息子さんの家に引越すことになつてしまいました。奥さんは、

「引越することはさびしいけど、これから私たちはもっと幸せになるんだから、がっかりしないね。」
とおっしゃっていたそうです。私たち家族にとつても、とてもさびしいことですが、息子さんたちと楽しく生活できるのだからと思つと、これが一番よいのだと思つました。

私は、Aさんから、たくさんのお話を教えていただきました。できないかもしれないことでも、あきらめていたら何もできなくなつてしまつこと。自分が納得できるまで頑張ること。努力すること。そして、生きていくためには、自分を大切に思っくれる人を持つて、いつも希望を持ち続けること。

Aさん、いままでありがとうございました。私もAさんに負けずに、いつも明るい気持ち忘れずに、何事にも一生懸命頑張ります。

育てよう 一人一人の 人権意識

人権課題解決のために、私たち一人一人が人権感覚を磨き、自らの課題として受け止め、日々の実践に向けて努力していきましょう。

桶川市教育委員会人権教育担当
〒363-0012 桶川市末広 2-8-29
☎ 048-728-4111 (内線236)